

2006年度第1四半期 決算説明会

2006年7月28日

富士電機ホールディングス株式会社

連結子会社数(66社 67社 + 1社)

【新規連結 + 3社】

- ・富士電機馬達(大連)社 (2006年1月より新規連結、機器・制御)
- ・亜台富士電機社 (2006年4月より新規連結、機器・制御)
- ・富士テクノサーベイ(株) (2006年4月より新規連結、その他)

【除外 -2社】

- ・富士電機ストレージデバイス(株)
- ・富士電機画像デバイス(株)
(2006年4月1日付けで富士電機デバイステクノロジー(株)に吸収合併)

(単位：億円)

	2006年度 第1四半期 予想	2006年度 第1四半期 実績	増 減
売上高	1,835	1,894	(+3.2%) +59
営業利益率	-2.7%	-1.2%	+1.5%
営業利益	-50	-23	+27
経常利益	-40	-15	+25
当期純利益	-30	-4	+26

売上増 +12
 価格レベル +6
 コストダウン +5
 経費減 他 +10
 為替影響 -2
 コストアップ -4

+33

-6

平均為替レート
US\$

116.00円

114.50円

(単位:億円)

		2006年度 第1四半期 予想	2006年度 第1四半期 実績	増 減
売上高	電機システム	610	666	+56
	機器・制御	430	450	+20
	電子デバイス	435	458	+23
	リテイルシステム	400	359	-41
	その他	100	103	+3
	消去	-140	-143	-3
	合計	1,835	1,894	+59
営業利益	電機システム	-95	-86	+9
	機器・制御	10	20	+10
	電子デバイス	23	27	+4
	リテイルシステム	17	13	-4
	その他	0	2	+2
	消去又は全社	-5	-1	+4
	合計	-50	-23	+27

【売上増減コメント】

電機システム

- ・eソリューション、環境システム、産業プラント、発電プラントの増加

- ・工事の減少

機器・制御

- ・器具、駆動制御ともに増加

電子デバイス

- ・全分野で増加

リテイルシステム

- ・自販機・フード・通貨機器の大幅減少

- ・コールドチェーン機器の減少

【営業利益増減コメント】

電機システム

- ・全分野で改善

機器・制御

- ・器具、駆動制御ともに改善

電子デバイス

- ・ディスク媒体、画像デバイスの改善

リテイルシステム

- ・自販機・フード・通貨機器の悪化

(単位：億円)

	2005年度 第1四半期	2006年度 第1四半期	増減
売上高	1,676	1,894	(+13.0%) +218
営業利益率	-0.7%	-1.2%	-0.5%
営業利益	-11	-23	-12
経常利益	-6	-15	-9
特別損益	-17	-2	+14
当期純利益	-10	-4	+6
平均為替レート US\$	107.69円	114.50円	

売上増 +18
 為替影響 +11
 コストダウン +27
 価格ダウン -17
 コストアップ -9
 資本費増 -15
 研究開発費増 -10
 その他 -17

+56

-68

為替影響 -2
 金融収支 +2
 その他 +3

特別利益 +2
 特別損失 +12

(単位:億円)

		2005年度 第1四半期	2006年度 第1四半期	増 減
売上高	電機システム	468	666	+197
	機器・制御	390	450	+60
	電子デバイス	364	458	+94
	リテイルシステム	481	359	-121
	その他	101	103	+1
	消 去	-129	-143	-13
	合 計	1,676	1,894	+218
営業利益	電機システム	-97	-86	+11
	機器・制御	11	20	+8
	電子デバイス	17	27	+10
	リテイルシステム	54	13	-40
	その他	2	2	+0
	消去又は全社	0	-1	-1
	合 計	-11	-23	-12

【売上増減コメント】

電機システム

- ・産業プラント、発電プラントの大幅増加
- ・環境システム、工事の増加
- ・eソリューションの減少

機器・制御

- ・器具、駆動制御の増加

電子デバイス

- ・ディスク媒体の大幅増加
- ・半導体、画像デバイスの増加

リテイルシステム

- ・自販機・フード・通貨機器の大幅減少
- ・コールドチェーン機器の増加

【営業利益増減コメント】

電機システム

- ・環境システム、産業プラント、工事の改善
- ・eソリューション、発電プラントの悪化

機器・制御

- ・器具、駆動制御の改善

電子デバイス

- ・ディスク媒体の改善
- ・半導体の悪化
- ・画像デバイス 前年同期並

リテイルシステム

- ・自販機・フード・通貨機器の大幅悪化
- ・コールドチェーン機器の改善

2006年度第1四半期 連結貸借対照表

資産の部

	06/3/31	06/6/30	増減
現金及び預金	215	175	-39
売上債権	2,405	2,056	-349
棚卸資産	1,374	1,495	+120
その他	424	500	+75
流動資産計	4,420	4,227	-193
有形固定資産	1,503	1,507	+4
無形固定資産	83	82	-1
(内、投資有価証券評価差額)	(1,691)	(1,406)	(-285)
投資その他の資産	3,893	3,603	-289
固定資産計	5,480	5,193	-286
繰延資産	0	1	+1
資産合計	9,900	9,422	-478

投資有価証券評価差額に係るもの

負債、純資産の部

(単位: 億円)

	06/3/31	06/6/30	増減
買入債務	1,810	1,603	-207
前受金	306	404	+97
金融債務	2,750	2,902	+151
(内、繰延税金負債)	(691)	(575)	(-116)
その他負債	2,183	1,874	-309
負債合計	7,051	6,784	-267
資本金	475	475	0
資本剰余金	467	467	0
利益剰余金	881	848	-33
自己株式	-68	-69	-0
株主資本	1,755	1,722	-33
(内、その他有価証券評価差額金)	(1,000)	(831)	(-168)
評価・換算差額等	994	821	-172
少数株主持分	98	93	-4
純資産合計	2,848	2,638	-210
負債・純資産合計	9,900	9,422	-478

自己資本

2,750 2,544 -206

(単位:億円)

	2005年度 第1四半期	2006年度 第1四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー (内、前受金の増減)	91 (191)	-90 (97)
投資活動によるキャッシュ・フロー	-29	-74
フリー・キャッシュ・フロー	61	-164
財務活動によるキャッシュ・フロー	-113	123
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	-0
現金及び現金同等物の増減額	-50	-40

現金及び現金同等物の期首残高	162	214
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	4	1
現金及び現金同等物の期末残高	116	174

2006年度上期 連結業績予想(対当初計画)

(単位：億円)

	2005年度 上期 実績	2006年度 上期 当初計画	2006年度 上期 今回予想	対当初計画 増減
売上高	3,693	3,930	4,000	(+1.8%) +70
営業利益率	0.9%	0.9%	1.1%	+0.2%
営業利益	33	35	45	+10
経常利益	37	35	45	+10
当期純利益	-7	0	10	+10

(単位：億円)

		2005年度 上期 実績	2006年度 上期 当初計画	2006年度 上期 今回予想	対当初計画 増減
売上高	電機システム	1,293	1,400	1,470	+70
	機器・制御	838	890	920	+30
	電子デバイス	759	910	940	+30
	リテイルシステム	876	800	750	-50
	その他	249	255	255	0
	消去	-324	-325	-335	-10
	合計	3,693	3,930	4,000	+70
営業利益	電機システム	-126	-90	-85	+5
	機器・制御	32	35	40	+5
	電子デバイス	66	75	85	+10
	リテイルシステム	53	15	10	-5
	その他	9	5	5	0
	消去又は全社	-2	-5	-10	-5
	合計	33	35	45	+10

上期の前提為替レート(今回予想)：114.25円 / 1USドル (当初計画)：115円 / 1USドル

第2四半期の為替1円影響 営業損益ベース：1.8億円 / USドル

1. 本資料および本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社により何らかの行動を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。